

県産農林水産物の放射性物質検査結果概要 (平成23年3月～24年3月)

宮城県農林水産部食産業振興課

1 経緯

県では、原子力センターに放射性物質測定機器を設置していたが、平成23年3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震後の大津波により、同センターが被災し測定機能の全てを喪失した。

その後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、県産農林水産物への放射性物質の影響が懸念されたため、平成23年3月25日から東北大学（サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター）の協力を得て農林水産物の放射性物質検査を開始し、以降、順次検査体制を強化しながら、県産農林水産物の安全確保に努めた。

2 精密検査結果

(1) 目的

ゲルマニウム半導体検出器により、定期検査（毎週定期的に実施する検査）及び確認検査（県が実施した簡易検査において精密検査の実施の目安を超過したものの検査）を実施し、全県のモニタリングを行った。

(2) 検査結果概要

県産農林水産物（穀類及び肉用牛を除く。）226品目1,307点を検査した結果、1,300点（99.5%）が暫定規制値の500ベクレル/kg（原乳は200ベクレル/kg）をクリアし、林産物2品目（原木ムキタケ（露地）、原木しいたけ（露地））7点（0.5%）が暫定規制値を超過したため、当該地域に対する流通防止措置を講じた。

なお、暫定規制値をクリアしたものの濃度別分布を見ると、50ベクレル/kg以下が1,198点（全体の91.7%）、51～100ベクレル/kgが53点（4.1%）、101～500ベクレル/kgが49点（3.7%）と、濃度が低いものがほとんどである。

【精密検査結果】

種別	検査品目計	検査点数計	内						訳				
			50Bq以下		51Bq～100Bq		101Bq～500Bq		500Bq超過				
			点数	品目	点数	品目	点数	品目	点数	品目	点数	品目	
農産物	78	410	400	97.6%	6	1.5%	生茶葉、ほうれんそう、ゆず、小麦、六条大麦	4	1.0%	こまつな、茶（荒茶）、ほうれんそう、干し柿	0	0.0%	
林産物	29	110	53	48.2%	20	18.2%	たけのこ、はたけしめじ、菌床しいたけ、原木しいたけ、原木なめこ、原木ぶな、はりたけ	30	27.3%	ムラサキシメジ、菌床しいたけ、原木しいたけ、原木なめこ、原木ムキタケ、たけのこ、燻わさび	7	6.4%	原木ムキタケ（露地）、原木しいたけ（露地）
畜産物	2	140	140	100.0%	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
水産物	117	647	605	93.5%	27	4.2%	アユ（天然）、イカナゴ、イシガレイ、イワナ（天然）、オオクチバス、ギンブナ、スズキ、ヒラメ、マアジ、マダラ、ヤマメ（天然）	15	2.3%	アユ（天然）、イワナ（天然）、キンザケ、クロソイ、スズキ、マダラ、ヤマメ（天然）	0	0.0%	
計	226	1,307	1,198	91.7%	53	4.1%		49	3.7%		7	0.5%	

(3) 種別毎の検査結果

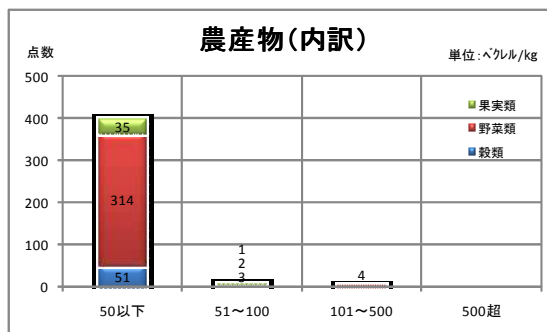
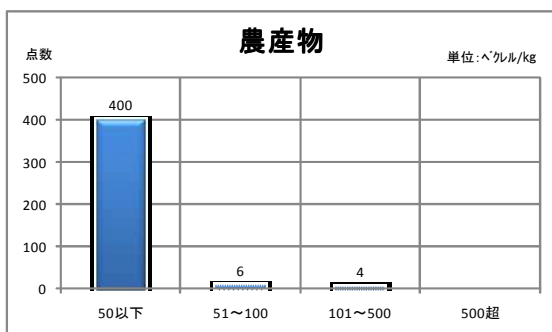
① 農産物の状況

○78品目410点を検査し、全て暫定規制値以下

○濃度別分布では、50ベクレル/kg以下が400点（全体の97.6%）、51～100ベクレル/kgが6点（1.5%）、101～500ベクレル/kgが4点（1.0%）

○最高値は、茶（荒茶）の383ベクレル/kg

○農産物のうち穀類（米，大豆）については，別途，出荷前検査を実施

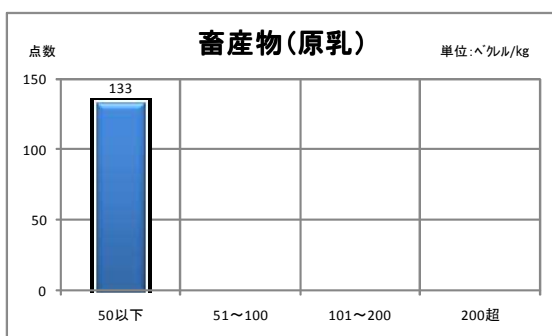


② 畜産物の状況

○2品目140点（肉用牛7点，原乳133点）を検査し，全て暫定規制値以下

○濃度別分布では，全て50ベクレル/kg以下

○畜産物のうち肉用牛については，平成23年8月19日以降，別途，出荷前に全頭検査を実施



③ 林産物の状況

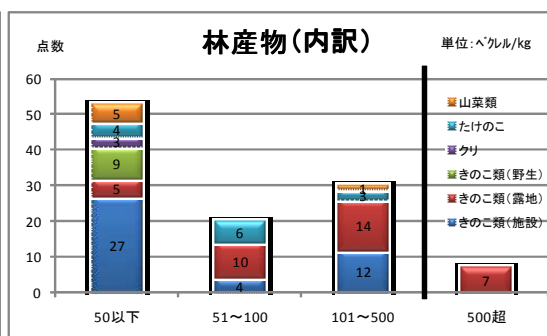
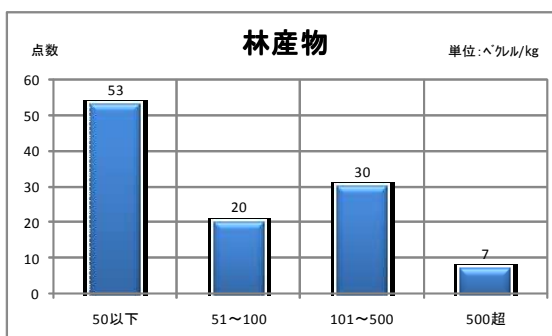
○29品目110点を検査

○暫定規制値以下が103点（93.6%）

○暫定規制値をクリアしたものの濃度別分布を見ると，50ベクレル/kg以下が53点（全体の48.2%），51~100ベクレル/kgが20点（18.2%），101~500ベクレル/kgが30点（27.3%）

○暫定規制値超過は7点（6.4%）で，いずれの品目も露地栽培で，原木ムキタケ1点，原木しいたけ6点

○最高値は，原木しいたけ（露地）の1,600ベクレル/kg

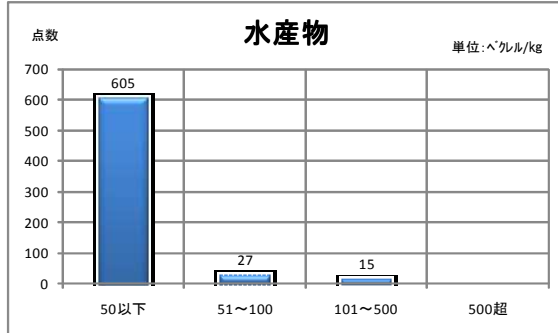


④ 水産物の状況

○117品目647点を検査し、全て暫定規制値以下

○濃度別分布では、50ベクレル/kg以下が605点（全体の93.5%）、51～100ベクレル/kgが27点（4.2%）、101～500ベクレル/kgが15点（2.3%）

○最高値は、スズキの360ベクレル/kg



3 簡易検査結果

(1) 目的

精密検査の補完として、県の各合同庁舎等に配置したNaIシンチレーション検出器により、圏域毎のモニタリングを実施した。

(2) 検査結果概要

県産農畜林産物116品目1,308点を検査した結果、精密検査の実施の目安である250ベクレル/kg（暫定規制値の1/2）を超過したのは、農産物2品目（ゆず、干し柿）2点と、林産物5品目（原木ムキタケ（露地）、原木しいたけ（露地・施設）、畑わさび（露地）、ムラサキシメジ（露地））14点の合計6品目16点（全体の割合は1.2%）で、1,292点（全体の割合は98.8%）は精密検査の実施の目安以内であった。

【簡易検査結果】

H23.11～3月分

種別	検査品目計	検査点数計	内訳				
			精密検査の実施の目安以内		精密検査の実施の目安超過		
			点数	割合	品目		
農産物	93	1,162	1,160	99.8%	2	0.2%	ゆず, 干し柿
畜産物	1	8	8	100.0%	0	0.0%	
林産物	22	138	124	89.9%	14	10.1%	原木ムキタケ(露地), 原木しいたけ(露地・施設), 畑わさび(露地), ムラサキシメジ(露地)
計	116	1,308	1,292	98.8%	16	1.2%	

※精密検査の実施の目安(250ベクレル/kg)

